

KiKiの広場

2019年 1月 1日

cafe NO.99
KiKi



あけましておめでとうございます！



今年は十二支の最後の干支「亥年」ですね。猪というと、「猪突猛進」のように、後先考えずに突き進むというように、あまり良い使い方をされていないように思いますが、実は猪の肉には、万病さえも防ぐ、予防する力があるとされていて、「無病息災」という意味もあるとか。自分を信じて前に進むことは決して悪いことではないですが、やはり一番大切なのは、周りに目を向けながら、健康第一で過ごすことではないでしょうか。

みなさま、今年もどうぞよろしくお願ひいたします。



「今月のケーキ」…「いんごのタルト」 350円



1月の予定

休館日	8日(火)	定休日	毎土・日曜日
臨時休業日	7日(月)・14日(月) 21日(月)・28日(月)		



カットの大きいりんごをふんだんに使い、シャキシャキ感たっぷりです。タルト生地も香ばしく仕上がっており、甘さをひかえたさわやかなタルトです。

今月のお気に入り…「寒い冬を楽しむ絵本」

～「だんろのまえで」「おもち！」「ゆきのふるよる」「ゆきやまたんけん」「十二支のはやくちことばえほん」などなど～



「火」と言うか「炎」には、す〜っと惹き込まれる魅力があります。「だんろのまえで」は、道にまよったぼくがたどり着いたところ、それは森の動物たちが囲む暖炉の前。「つかれたら やすめばいいんだ むりしないで じっとしてれば げんきになるさ」火を見つめながらうさぎが言います。ちょっぴり心が弱っている時に、そっと寄り添ってくれる大人向けの絵本です。「どわ〜ん ぶわわ〜ん」「ぼわ〜ん ぼわわ〜ん」とは、ついているお餅がのびる様子です。「おもち！」は、石津ちひろさんのリズムのある言葉、村上康成さんの絵、相性バッチリです。お餅つきの楽しさが、言葉からも絵からも伝わってきます。



今月の本棚…「今年の干支 いのししが出てくる絵本」

～「まゆとうりんこ」「トンでもない！」「いもさいぼん」「もん太と大いのしし」「しっかりはしれぼ」「椋鳩十のイノシシ物語」～



「やまんばのむすめシリーズ」の「まゆとうりんこ」は、迷子のうりんこの為に、まゆが一生懸命お母さん役をする姿が、なんとも可愛いです。シロツメクサのじゅうたんの上で一緒にお昼寝するシーンは、うっとりするくらい優しくてきれいです。うりんこが本物のお母さんイノシシと会えて一緒に谷に帰っていく姿を見て、まゆはやまんばかあさんのところに飛んで帰っていきます。一瞬でお母さんから甘えん坊の子どもに戻ったまゆを、ぎゅっと抱きしめるやまんばかあさん、胸がキュンってなります。「トンでもない！」は、小さな森に突然現れたブタに振り回されるイノシシのお話です。森の仲間から親戚だと言われ、納得がいかないイノシシくん。自分の好物を食べられたりお気に入りの場所を取られたり、とうとう怒って泥沼の中で、泥んこ合戦が始まると、あれあれすっかり面白くなって仲良しに。こんな森があったらみんな楽しいだろうなあ……。



ほっとフレイク

ヒストリアには、いろいろな世代の方が来られます。基本的に大人の方が多いですが、定期利用の中には、幼児から高校生までのみなさんもおられます。週1回、ダンスの練習に来る子どもたちがいます。通常は交流ホールを利用されますが、他に予約が入っている場合はイベントホールを使われることもあります。夕方受付にいと、小学校1～2年生の子どもたちが、「今日は、どっちですか！」と元気に聞いてきます。走り回るのが大好きな子どもたち、「今日は下ですよ。」と言うと、「やったー！」と喜んで行きます。イベントホールに響く子どもたちの楽しそうな声を聞くと、思わず笑みがこぼれます。年代物のヒストリア宇部ですが、想いを持って利用される歴史を知る方々と、無邪気に楽しんでいる若い世代によって、これからもっともっと輝いていけるのではないかと思います。